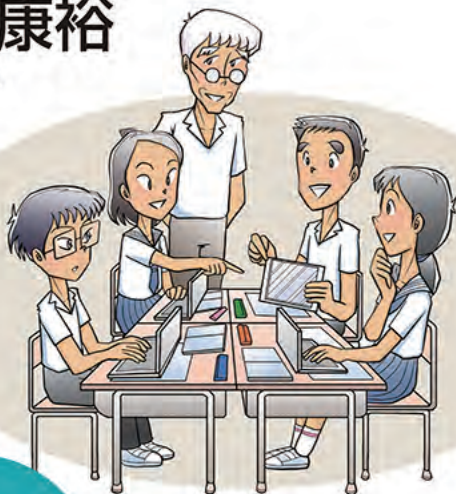


前田康裕

[文と漫画]



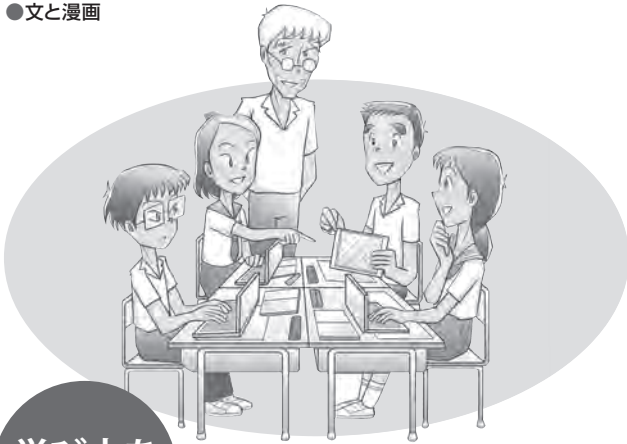
学び方を  
学ぶ

まんがで知る

# 学習方略

前田康裕

●文と漫画



学び方を  
学ぶ

# まんがで知る 学習方略



## ◇まえがき

学校に1人1台のタブレット端末が導入されてから、すでに数年が経ちました。

多くの地域では端末の更新も進み、まさに「セカンドステージ」に入っています。

では、その環境は本当に子どもたちの学びを変えているでしょうか。

現場を見渡すと、依然として教師が一方的に説明する授業や、発言の得意な子どもの意見だけで進んでいく授業が少なくありません。

一方で、OECD（経済協力開発機構）のPIISA調査（2022年）によれば、日本の子どもたちは「学力テストの点は高いが、学習意欲が低く、自分で学ぶ自信がない」という傾向が示されています。

変化の激しい社会においては、学校を卒業した後も自ら学び続ける力がなければ、未来の課題に対応できません。せっかく整ったデジタル環境も、子どもたちが主体的に学ぶ力を育てる方向で活かさなければ意味がないのです。

本書では、あえてタイトルに「学習方略」という少し耳慣れない言葉を選びました。それは、自分の力で学ぶためのキーワードこそ「学習方略」であると考えるからです。

前シリーズ『まんがで知る デジタルの学び』3部作では、タブレットが導入された義画小学校の物

語を描きました。本作は、その同じ年に同時進行で展開した義画中学校の物語です。再任用教員として働く教師が、学びに苦手意識を持つ子どもたちに直面し、どうすれば授業を改善できるか悩み、試行錯誤していく姿が中心になります。

1人1人の登場人物のセリフや行動には、私自身が伝えたい教育へのメッセージを込めています。その解釈を楽しみながら読み進めていただければと思います。

本書の執筆中に、中央教育審議会から次期学習指導要領に向けた『論点整理』が公表されました。解説ページでは、その中から重要なキーワードを取り入れながら解説を加えています。ぜひ『論点整理』と合わせてご覧ください。

また、各章の最後には「学び方が学べる教育書とWEBサイト」というコラムを設けました。子ども主体の授業づくりに役立つ本や資料を紹介していますので、参考にいただけるはずですよ。

よく「本書の一部をコピーして研修会や研究会で配布してもよいか」と質問をいただきます。出典が明記してあれば自由にご利用いただいてもかまいません。インターネットでの画像引用も同様です。

本書が、教育の現場で多くの方の役に立ち、子どもたちの学びを支える一助となれば、作者としてこれ以上の喜びはありません。

前田康裕

第1章

## 児童生徒の学習方略の指導

多様な個性や特性を持った子どもたち—— 9

コラム◎学び方が学べる教育書とWEBサイト ①

秋田喜代美 『学びの心理学』—— 28

第2章

## 自律的に学ぶ自信がある子を育てる

デジタル学習基盤—— 29

コラム◎学び方が学べる教育書とWEBサイト ②

難波駿 『学び方を学ぶ授業』—— 48

第3章

## 自分の意見を表現する活動の充実

「好き」を育み、「得意」を伸ばす——49

コラム◎学び方が学べる教育書とWEBサイト

③

有賀三夏 『自分の強みを見つけよう』——68

第4章

## 既得の知識と新しい知識を関連付ける

家庭学習の内容を自律的に決められるような段階的指導——69

コラム◎学び方が学べる教育書とWEBサイト

④

篠ヶ谷圭太 『予習の科学』——88

第5章

## 認知的方略を意識できるようにする

他者との対話や協働——89

第6章

コラム◎学び方が学べる教育書とWEBサイト ⑤

河村茂雄 『アクティブラーナーを育てる自律教育カウンセリング』 108

## メタ認知的方略を意識できるようにする

学習改善等に生かす評価 109

コラム◎学び方が学べる教育書とWEBサイト ⑥

木村明憲 『自己調整方略』 128

第7章

## 中核的概念の深い理解を促す

児童生徒主体のルール形成や学校生活改善 129

コラム◎学び方が学べる教育書とWEBサイト ⑦

ヤナ・ワインスタインほか 『認知心理学者が教える最適の学習法』 148

# 学びをデザインする高度専門職としての教師

— 学びに向かう力・人間性等 —

149

コラム◎学び方が学べる教育書とWEBサイト ③

光村図書 教育開発研究センター『学びをまなぶ』

— 168 —

引用・参考文献 — 172

ダウンロードして使える  
読者特典

● 「学習方略ハンドブック」

※両面印刷して本の形に  
して携帯もできます。



● 「学習方略を身につけよう」

※大きく印刷して教室  
にも掲示できます。



# 今回は、1人の社会科教師と4人の中学生の物語です。

的芽学（まとめまなぶ）先生

校長としての経験を持ち、子どもが大好きで  
定年退職後も教壇に立ち続ける社会科の先生。

井能巧（いのうたくみ）くん

国語・数学・理科・英語の成績は抜群。しかし、社会と音楽は  
極端に苦手です。パソコンを使った学習に強みを持っています。

網狩沙知（つながりさち）さん

社会科には興味を持ってませんが、理科と音楽は大好き。  
明るい性格で、アナウンスを得意としています。

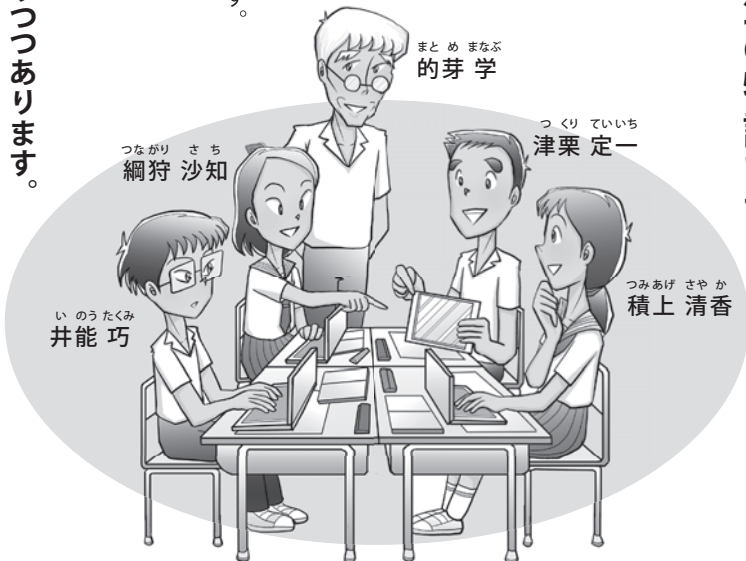
津栗定一（つくりていち）くん

テストの成績は振るいませんが、漫画を描くのが大好き。  
自己肯定感が低い一面もありますが、表現に情熱を持っています。

積上清香（つみあげさやか）さん

全教科の成績が優秀で、積極的に発言できるしっかり者。  
学校のリーダーとしての一面も見せます。

社会が大きく変化する今、学校や教師の役割も変わりつつあります。  
この5人の成長の物語を通して、  
これからの学校教育のあり方を一緒に考えていきましょう。



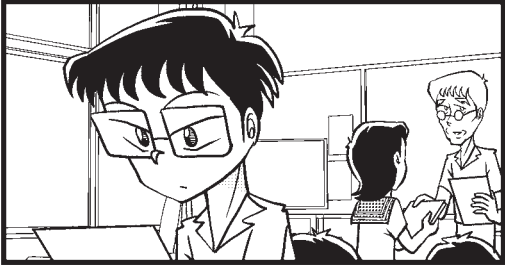
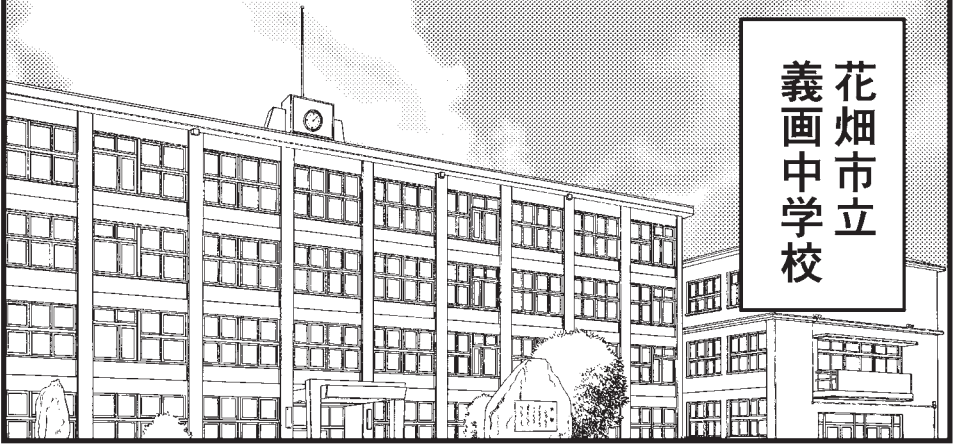
第1章

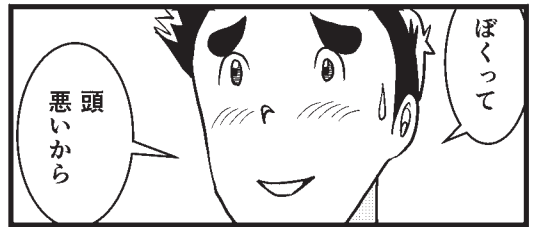
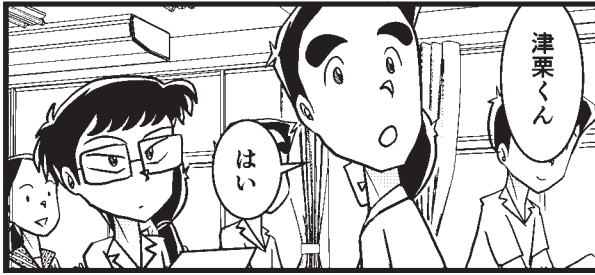
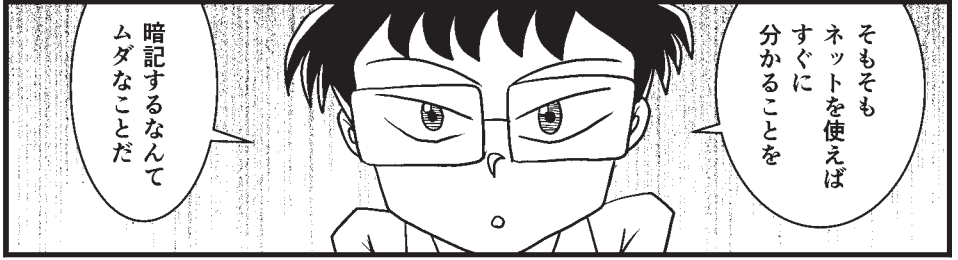
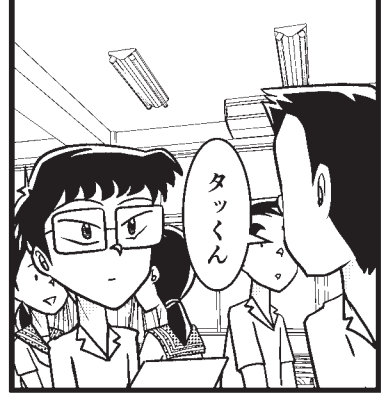
# 児童生徒の 学習方略の指導

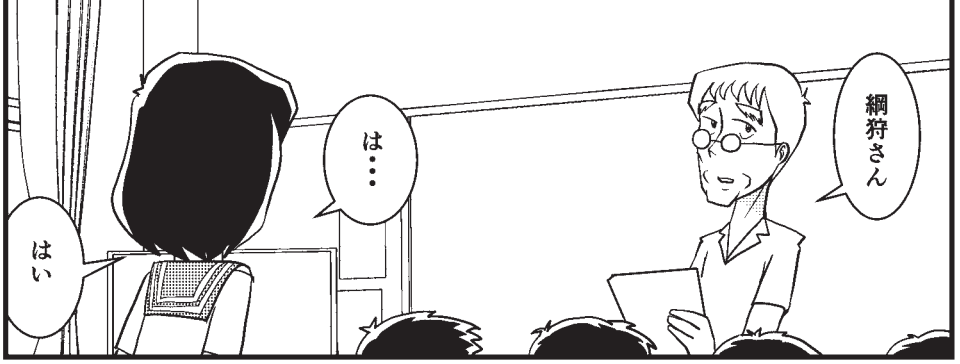
多様な個性や特性を持った子どもたち

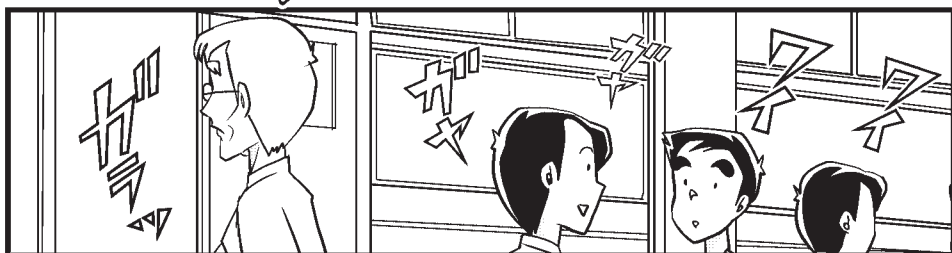


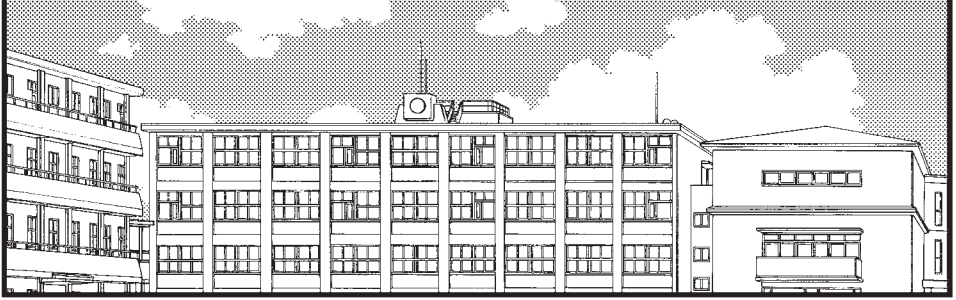
花畑市立  
義画中学校

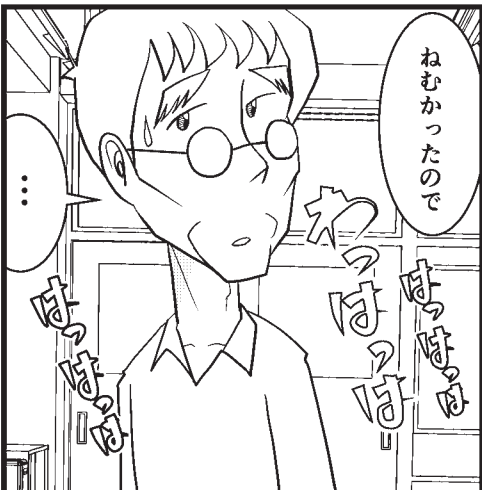
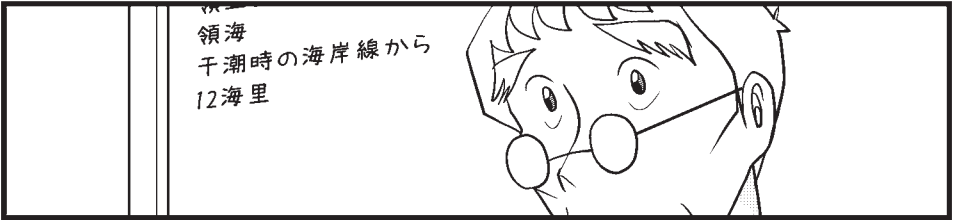












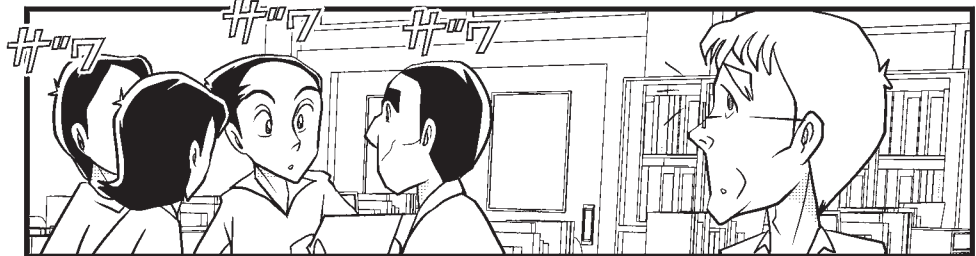
職員室

井能君は  
国語、数学、理科、英語は  
高得点じゃないか

社会科だけが  
極端に悪い……

井能くんにとっては  
私の授業は  
おもしろくないん  
だらうなあ……

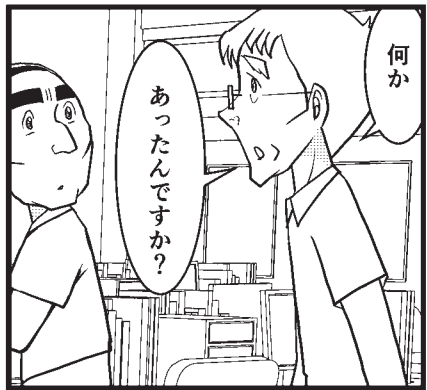
でも  
教えなければならぬ  
事項は多いし……



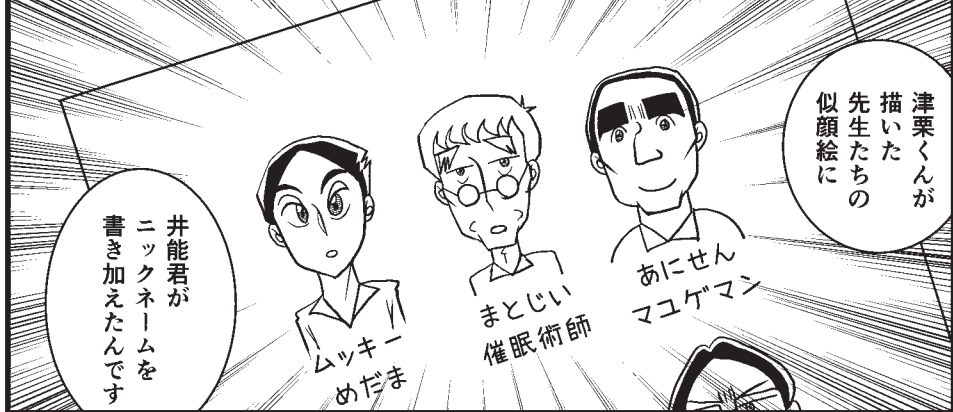
理科の授業中に  
こそごと  
落書きが  
回ってきたんで

取り上げたん  
ですよ

2年3組担任 理科  
あにめはなそう  
**兄目花双(32)**



何か  
あつたんですか？



会議室

先日  
タブレット端末の  
研修を行いました

活用状況は  
いかがでしょうか？

6月2日の  
小中連携  
協議会の時には  
義画小学校の  
先生方が  
見に来られますし

ちょっと  
いいですか？

6月2日は  
タブレットを  
使う授業を  
見せるんですか？

わたしは  
まだ  
慣れてません

2年4組副担任 国語科  
こだわり かきこ  
**古田割 柿子(55)**

タブレットも  
いいけど

ノートにしっかりと  
手で書かないと  
覚えないですよ

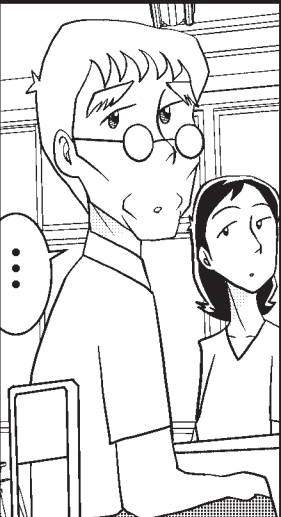
普段の授業で  
いいんでしょう？

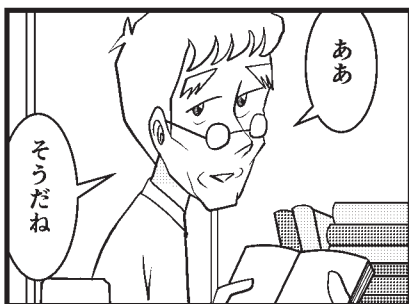
ええ  
まあ...

普段どおりの  
授業を見せるからこそ  
意味がある！

使うことを  
目的化しては  
ならない

は...はい





6月2日  
小中連携協議会

ここが  
義画中学校  
です



中学校では

義画小学校 新任教諭  
もりのみやこ  
**森野都(22)**

タブレット  
使っている  
ですかね

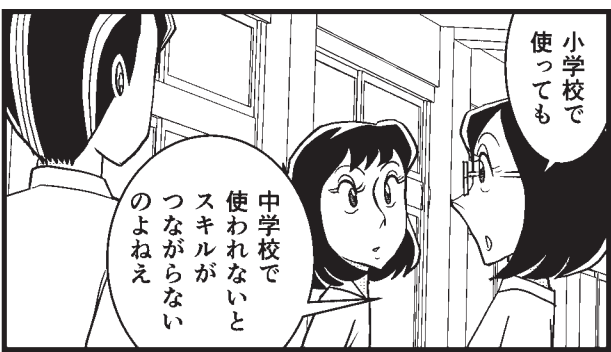


使っていれば  
いいんだけどね

義画小学校 研究主任  
まえむききょうこ  
**前向協子(42)**

小学校で  
使っても

中学校で  
使われないと  
スキルが  
つながらない  
のよねえ

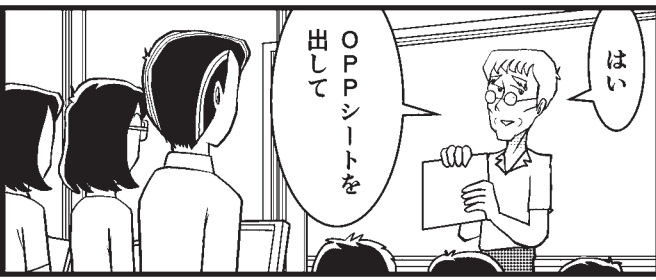


2年2組



はい

OPPシートを  
出して



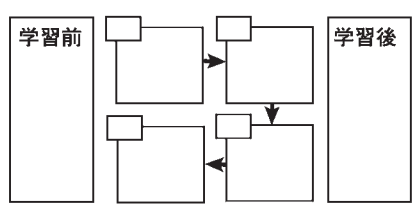
今日の授業で

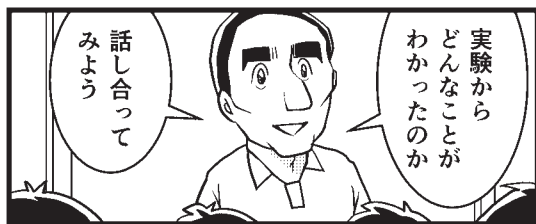
一番重要だと  
思うことを  
書いてください

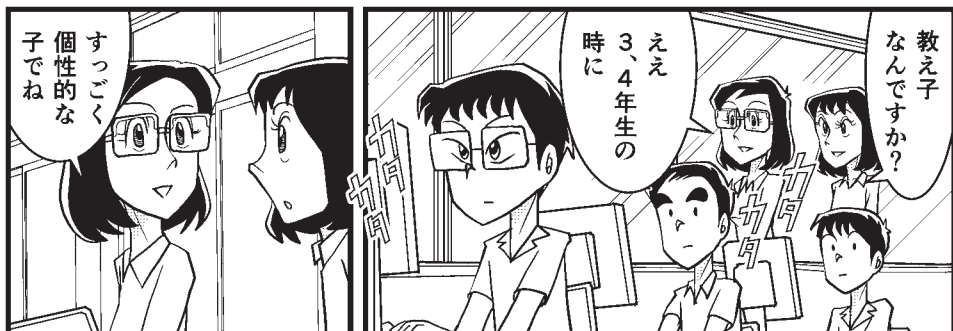
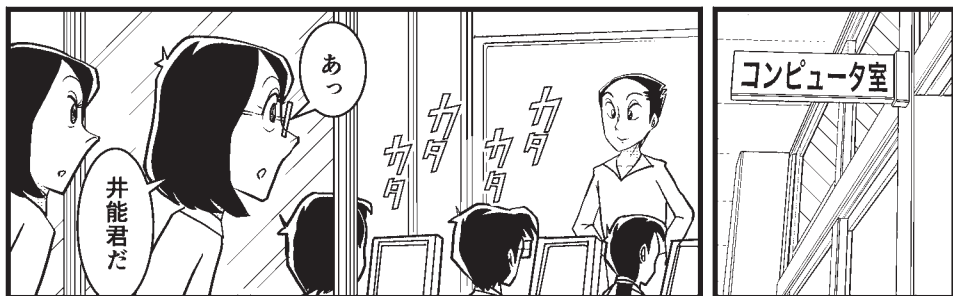
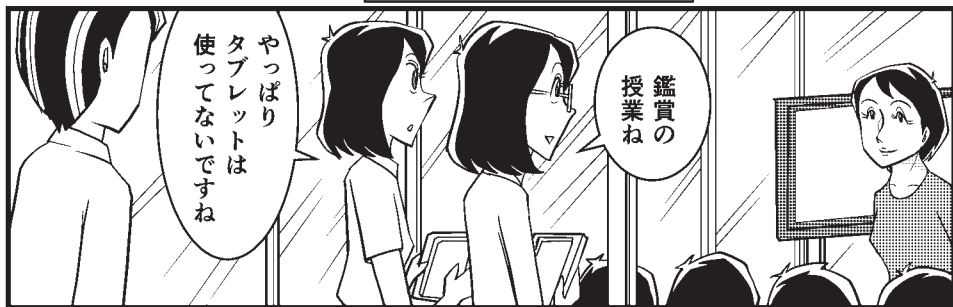
社会科OPPシート ※

学習前

学習後





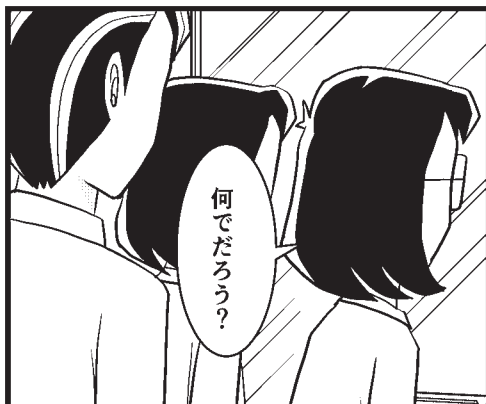
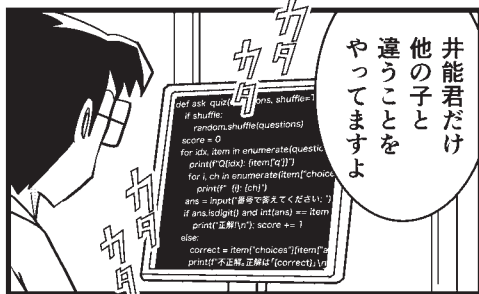
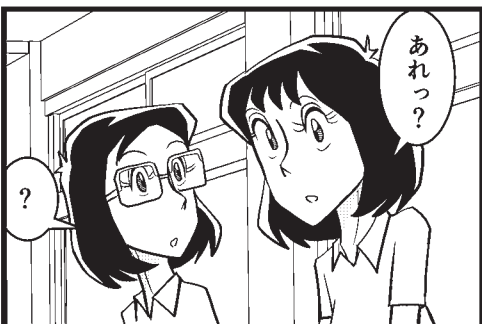


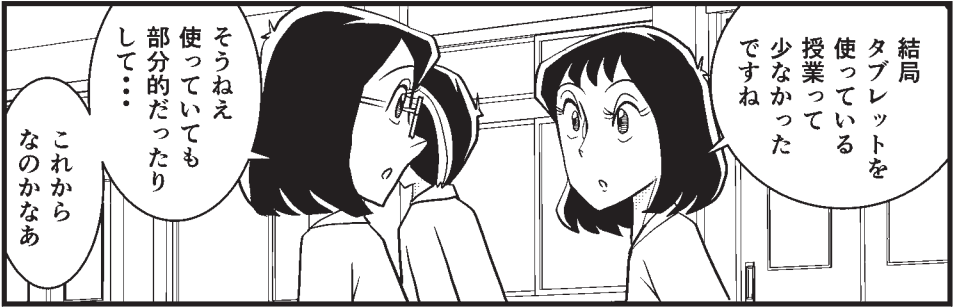
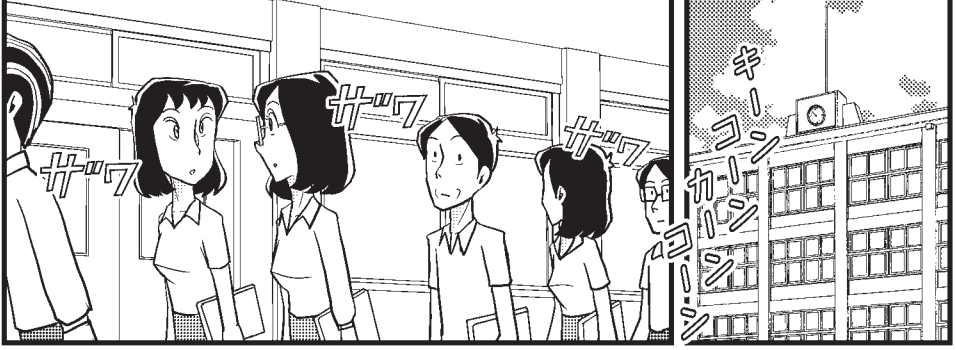
算数と理科は  
ばつぐんに成績が良くて

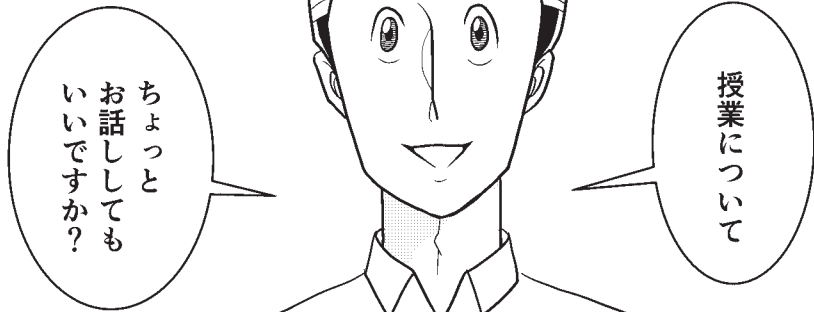
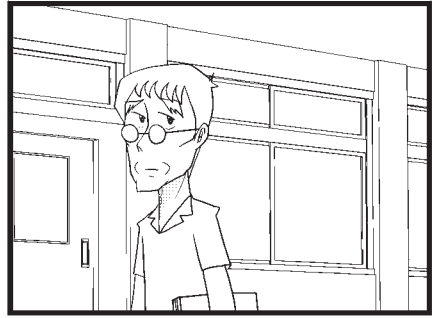
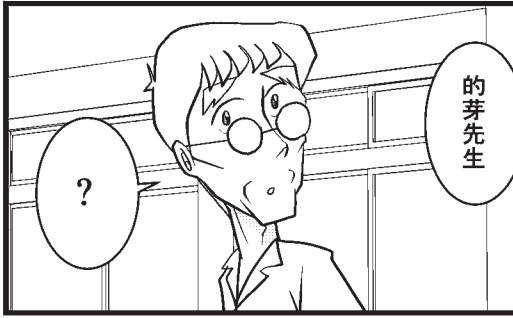
$$0 = 2x^2 + 8x - 6$$
$$0 = x^2 + 4x - 3$$
$$0 = (x^2 + 4x) - 3$$

小学生の時から  
方程式で問題を解いていたの  
ところか  
社会と音楽は極端に苦手で

授業中はすぐに寝ちゃうので  
興味を持たせるのに苦労したわ…







義画小学校 初任者研修拠点校指導教員  
きらりょうすけ  
吉良良介(53)

# 児童生徒の学習方略の指導

そもそも学習方略 (learning strategy) とは何でしょうか。

教育心理学者の辰野千壽氏は次のように述べています。※

学習方略は、「学習の効果を高めることをめざして意図的に行う心的操作あるいは活動」と定義されている。これは、学習を促進する効果的な学習法・勉強法を用いるための計画、工夫、方法のことを意味しており、観察できる行動として現れるものもあるし、現れないものもある。

学習方法 (learning method) が「学び方そのもの」を指すのに対して、学習方略は、学習をより効果的にするための自発的な工夫だと考えると分かりやすいでしょう。

たとえば、中学・高校時代に自分で単語帳を作ったり、友だちと問題を出し合ったりした経験はありませんか。これらはすべて学習方略の一例です。子どもたちが主体的に学習をするためには、このような自分なりの工夫ができる力を育てることが重要です。

※ 辰野千壽『学習方略の心理学 賢い学習者の育て方』(図書文化社) 1997年、11ページ

## ◎多様な個性や特性を持った子どもたち

漫画では、社会科の学習が苦手な3人の子どもが登場します。それぞれ苦手の理由は異なります。

井能くん……学習に意味を感じない（「暗記してもムダだ」）

津栗くん……自分には能力がないとあきらめている（「ぼくにはムリ」）

綱狩さん……学習内容に興味を持ってない（「社会科っておもしろくない」）

現実の教室でも、子どもたちの知識・経験・認知の特性はさまざまです。にもかかわらず、教師が一方的に知識を伝える授業だけでは、学習に苦手意識を持つ子どもたちが主体的な学習者へと成長するのは難しいでしょう。

教育心理学者の秋田喜代美氏は21世紀の学習科学のポイントとして次のように指摘しています。※

指導法だけではなく学習に焦点をあてる。うまく教えれば、深い概念的理解を得るわけではない。生徒は自分の学習に積極的に参加することで初めて深く学ぶ。

つまり、「子どもが自分から学ぶ授業」へと授業観をアップデートすることが求められているのです。教師は、多様な個性や特性を持った子どもたちが自ら学びに向かうための環境や仕掛けを設計し、学習方略を身につけられる授業づくりを意識する必要があります。

※ 秋田喜代美『学びの心理学 授業をデザインする』（左右社）2012年、19ページ